

看護学研究科 [博士前期課程]
「特別研究」指導教員の研究テーマ一覧

教育研究分野	領域	教員氏名・連絡先	主要研究テーマ
基盤看護学	看護教育 管理学	原田 広枝 hiharada@	死を迎える対象者に質の高い看護と安楽な看護を提供するために、臨床研究の手法に則り、各々の持つ看護の課題をテーマとして、看護技術の生理学的検証および臨床応用ができる看護技術の開発と教育方法についての研究
	長寿科学 看護	長尾 光城 dragon-n@	高齢者の体力について、元気な高齢者から病弱な高齢者までを対象に、生理学的変化と骨・関節の変化を観察することで、いかにして健康寿命を延伸させることができるかを考察し、生理学的、整形外科的な観点からの研究
		長尾 憲樹 tiger-n@	高齢者を対象に生活習慣病予防、介護予防に対する運動、栄養、精神力の維持・増進に関する研究課題を科学的知見から考究し、住民の健康の維持増進に寄与するための研究
エンドオブ ライフケア 看護学	エンドオブ ライフケア 看護学	小笠原 知枝 c-ogasa@	エンドオブライフ期における多様な健康課題を探究し、看護ケア方法や看護実践モデルの開発、看護理論の生成などのエンドオブライフ看護学の開発
		兒玉 拓 kodama@	代表的な呼吸器疾患である気管支喘息病態について理解を深めるとともに喘息の看護ケアの課題を多角的に俯瞰しながら喘息発作時等の看護ケアの看護技術の向上を目的とするプログラム構築を目指した研究
生涯発達 看護学	成人・老年 看護学	柴山 健三 k-shiba@	救急看護や集中治療を受ける患者の看護領域において、独自の研究テーマを創出し、それに基づく国内外の文献検討を行う。データを統計学的に収集・分析し、これらの患者の健康やQOL向上に資する急性期看護を中心とした研究
		白神 佐知子 sachiko@	がんや慢性的な健康障害をもちつつ生活をする対象者への看護及び、終末期にある患者および家族への倫理的配慮や意思決定プロセスの支援について質的に収集・分析し、看護の専門性と看護実践を追求する研究
	母性・小 児看護学	篠原 ひとみ kouhou@	広義の母性看護学における健康課題を科学的に探究し、女性を取り囲む環境、女性への健康、障害児を持つ母親などに対する母性看護実践の研究
広域看護学	精神看護学	加藤 知可子 chikkato@	入院治療あるいは社会資源を用いて地域で生活するすべての精神障がい者とその家族を対象とする精神看護学において、心理教育や家族支援を中心とした研究
		窪寺 俊之 kubotera@	地域における、エンドオブライフ期のケア対象者とその家族へのスピリチュアルケアのあり方についての研究
	在宅看護学	長弘 千恵 cnaga@	複雑で多様な健康課題を持つ在宅療養者の日常生活におけるケア開発や生活・健康課題に視点を置いた家族への支援方法など、療養者と家族の力を活かした支援方法について研究
		高見 千恵 c-takami@	在宅療養者および家族に関する生活・健康課題を多角的に捉え、それらを解決するために必要な施策、地域包括ケアシステムの構築方法、家族支援プログラムの開発等を探求する研究
	地域看護学	三徳 和子 k-mitoku@	地域に在住する人々のゆりかごから墓場までのライフサイクル別健康課題およびエンドオブライフ期における対象者のQOLおよびQODDに関する研究、生活習慣病、職場のストレスなどの研究
多田 章夫 atada@		地域住民の喫煙、乳幼児虐待、神経難病、認知症、誤嚥性肺炎、要介護高齢者重症度予防等のテーマに関し記述統計、多変量解析などを用いた研究	

○E-mail : @以下は、*hyogo-dai.ac.jp

看護学研究科 [博士後期課程] 「特別研究」指導教員の研究テーマ一覧

教育研究分野	教員氏名・連絡先	主要研究テーマ
エンドオブライフケア看護学	小笠原 知枝 c-ogasa@	エンドオブライフ期における多様な健康課題を創造的に探究し、看護ケア方法や看護実践モデルの開発、看護理論の生成などのエンドオブライフ看護学の開発のための研究
	兒玉 拓 kodama@	気管支喘息の病態コントロールを評価しながら患者が求める喘息看護ケアを再定義し、併せて喘息ケアでの看護技術の課題を探求する。さらに臨床研究の手法に則り看護ケアの質の向上を目的とした研究
生涯発達看護学	柴山 健三 k-shiba@	救急看護や集中治療を受ける患者の看護領域において、研究テーマを創出し、それに基づく国内外の文献を深く検討を行う。データを継続的および多数例を統計学的に収集・分析し、急性期看護領域において革新的なケアシステムを開発できる研究
	長尾 光城 dragon-n@	我が国の長寿社会のあり方を、健康寿命の観点から学術的に考察し、生老病死に至る一連の人生の中で、健康を享受して、生きることができると研究する。人の人生にとって望ましいエンドオブライフのあり方を追求し、長寿健康と看護についての研究
広域看護学	三徳 和子 k-mitoku@	地域に在住する人々のゆりかごから墓場までのライフサイクル別健康課題およびエンドオブライフ期における対象者のQOLおよびQODDに関する研究、生活習慣病、職場のストレスなどの研究
	窪寺 俊之 kubotera@	地域におけるエンドオブライフ期のケア対象者とその家族へのスピリチュアルケアのあり方についての研究
	長弘 千恵 cnaga@	在宅看護の現状と包括的課題を多面的に探り、あるべき姿に導く看護サービスについて探求するために必要な科学的方法を検討し、独創的な研究論文を作成するための研究
	加藤 知可子 chikkato@	精神障がい者および家族のQOLの向上に資するために、多角的視点にたつて、統合失調症や認知症を抱える対象者および家族が安心して生活できる支援システムの開発等に関する研究
	長尾 憲樹 tiger-n@	高齢化率、少子化等の人口動態、健康状態調査を基本とし、地震、津波、台風、豪雨等による自然災害発生時の防災体力・健康の維持増進のための研究課題を科学的見地から深く探求することで、災害時のQOL保持に寄与する研究
	多田 章夫 atada@	地域住民の喫煙、乳幼児虐待、神経難病、認知症、誤嚥性肺炎、要介護高齢者重症度予防等のテーマに関し多角的な視点から分析し、広域看護学領域における質向上に資する研究
	原田 広枝 hiharada@	死を迎える対象者に質の高い看護と安楽な看護を提供するために、臨床研究の手法に則り、各々の持つ看護の課題をテーマとして、多角的な視点から、看護技術の生理学的検証および臨床応用ができる看護技術の開発と教育方法についての研究

○E-mail : @以下は、*hyogo-dai.ac.jp